

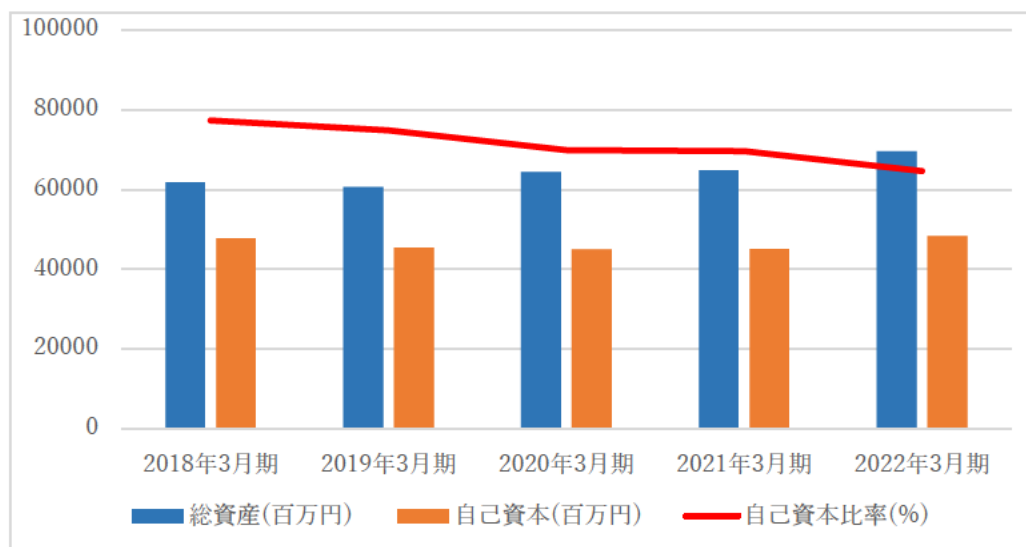
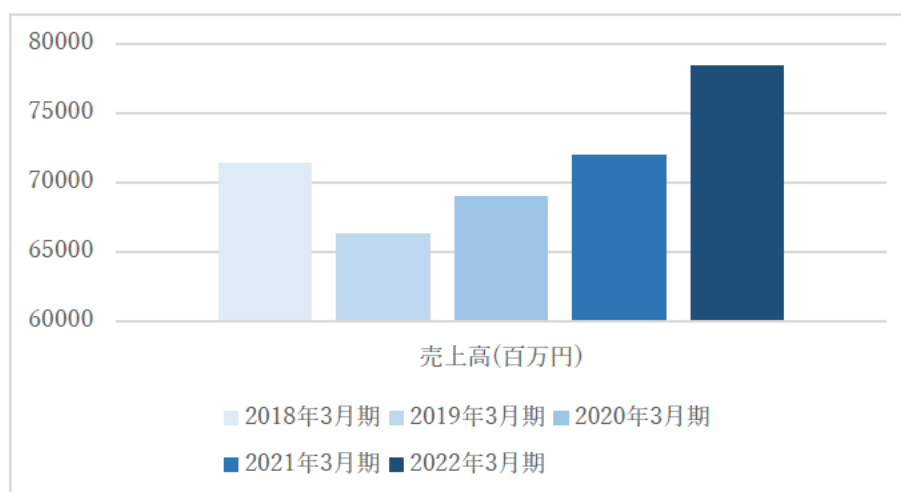
企業名： モスフードサービス

レポート名： モスレポート2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

2020年頃からのコロナ流行による外食の機会の減少により、外食産業は大きな打撃を被った。こうした状況下でも、テイクアウト専門店やデリバリー体制の構築などの新たな経営体制の構築に努めることで、売上高・営業利益ともに前期からの拡大に成功した。このことから、当社はめまぐるしく変わる社会変動の中でも、当社の理念である、「食を通じて人を幸せに」し、真心を込めて地域と繋がりを持つことで、人間、そして社会に貢献する姿を目指していると考えます。

2. この会社の競争優位性が理解できるか



コロナによる人々の食生活の変化に加え、ウクライナ戦争による小麦などの一部食料の価格高騰により外食産業が厳しい状況の中でありながら、売上高はコロナ前の2018年3月期より12%も拡大しており、また、東南アジア圏を中心とした海外進出にも成功しており、十分競争力があるという。総資産、自己資本はコロナ前より若干拡大、自己資本比率は8%減少しているものの、コロナ期の競争力維持への費用を鑑みれば、現段階でも将来にわたって当社を経営し競争力を高めていくだけの資力があるといえる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

・アフターコロナとして「外食でなければ得られない魅力を提供できる店舗作り」という経営方針。

・持続可能な調達を目指し、「モスグループ CSR 調達方針」、「モスグループ人権方針」、「モスグループ環境方針」を実施。これにより、商品やサービスの安全性や、社会・環境問題に配慮した調達を心がけている。

以上2点から、当社の競争優位性に持続性があると考ええる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

・当社は、その経営理念として、真心をもってサービスを提供することで食を通じて人を幸せにし、地域との繋がりを大切にして、人間および社会に貢献していくことを掲げている。

・「モスグループ人権方針」により、人権と多様性を尊重した労働環境に配慮する調達活動を推進する。

・当社のグループ会社の一つである株式会社モスシャインでは障害者雇用の拡大と安定のための経営を行っている。

以上の観点から、当社は人的資本の価値向上を達成できると考える。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

地域別売上高の数値をシンガポール、香港だけでなく、タイや中国、韓国などの他の進出地域についての売上高の数値も掲載する。